

大窪公民館での鎌田さん発言の要旨をまとめました。  
11月22日、確約書を受取ることになりました。

平成24年10月29日 大窪公民館  
県議立会いで養豚場建設断念発言

#### 鎌田さん発言

地元の皆様には心配を掛けたり、迷惑を掛けている。地元が反対しているのをやる、作る考えは無い。今の技術であれば、皆さんに迷惑を掛けない施設が出来るのではという事と、雇用も発生するとの考えで進めていた。

どうしても説得が出来ないと、そしてまた、今の技術であれば心配だという考えが払拭できないという事で、先生とは45年以上の長い付き合いでこの前から色々、県にも連れて行ってもらったり、色々説得をされたりした。何か別な方向に道があるのではないかという事で、最近、毎日のように話を進めてきた。

その結果、我々も今まで養豚場にこれだけ皆さんが反対されるから、他に方法があるのではという事で、他を検討してきた

- ・ メガソーラ

すぐに検討に入っていたが、高圧線21万ボルトには直接繋げない。春山の変電所まで配線するとなると、試算結果5億円ほど掛かる。今の地形であるので、造成をやり直したりすると莫大な金が掛かるという事で、なかなか採算に乗らない。

- ・ 別荘は景気の悪い状態であるので難しい。

- ・ 伊藤園からお茶畑の話があり、地質調査を行ってもらった。シラス台地であり、お茶の生育には適していない。

色々、検討してきた。ここ一ヶ月、先生と話をきて「養豚場は断念」する事とした。

メガソーラに絞って、出来る範囲内で採算を度外視してでも、そういう事にしか使い勝手は無いという気がしている。

別荘は景気が上向いて行けば、静かな所であり、温泉があるところであれば、住みたいという人達が出てこられるであろうと思う。その方面も考えて、ちょっと息を長くして、今から色んな対策を採っていこうという風に考えが変わった。

手っ取り早いのはメガソーラだろうと思う。石油の取引先が日本石油であり、ここもメガソーラをやっている。京セラにも相談したり、色々やっている。大手の方々に相談しながらやって行きたい。

そうなるとどうしても地元の皆さんに理解をもらって、それならば良いというような品でないと、またこういう皆さんの理解を得られないような仕事をやって行けば、また長い時間が掛かる。今回は別荘かメガソーラか、どっちかに片よって早急に、その方向で進めたいと思うので、今、先生がその2つであれば、地元の人たちが協力するという事であるので、その方向ですぐ動きたい。

何しろ今回は皆さんご存知のとおり、ナンチクさんとの話を進めてきたので、一応ナンチクとか霧島市との協議を整えて方向転換いたしますという事を、きちっと向こうにも伝えた上で方向転換したいと思うので、今日のところは、ちょっと伏せておいていただきたい。皆さんの方から「鎌田は止めた」と言われると、こっちの立つ瀬も無いし、また協力(養豚場建設計画に)をして下さった方々に申

し訳ないと思うので、うちの方から、きちっと説明をして了承を取った上で、皆さんに確約書を出したいと思うので、その期間、相手のある事なので、相手の日程の取れる日に説明に伺い、皆さんに確約書を提供したいと思う。

そういう2つの方向で行かないかも知れないが、あとは皆さん方に相談し、それならば良いという施設を作って行きたいと思うので、今までの事は大変な迷惑を掛けただが、水に流していただき、協力をお願いしたい。

私どもも地元の発展の為になるような施設を作り、協調関係で仲良くできるような仕事をして行きたいと思っている。今後は参加の方々が分かったので前もって相談しながら薦めて行きます。

中村：一週間、来週の月曜日までには、確約書をいただけるとの約束と受け取って良いか？

鎌田：ナンチュクに電話し、30日、訪問する事を打診したが、「役員みんなが集まらないと、大事な話であるので」という事であった。役員の人達が集まる日を連絡するという話になっている。霧島市にしても、鹿児島県にしても、こちらから話をしなければならぬ。行政の日程を聞いて伺うという形をとる。確約書提出日を何日という事ではなくて、この場で「養豚場は作らない」という事を皆さんに表明した。それを信じていただいて、一週間で済むか10日間掛かるか、そう長くは無い時期に、今すぐに日程を組んで下さいと話をしているので、私としてはどういふ事であっても、そういう事で、一応、先生とも話をし、「養豚場は作らない」と明言したので、それを信じていただきたい。

県議：確約書というのが出たのは本日です。私が発言した。担保が欲しいと言われれば、鎌田さんから確約書を貰いましょうと言った。お互い信じるところは信じないと、いつ何時、確約書と言っても、その裏にはナンチュクとの契約や口では言えない県との環境調査の手続きとかがあるから、一週間を目途に、早ければ3日です。

中村：確認させてもらう。

ここ一週間の内に鎌田さんの方でナンチュクとか霧島市、鹿児島県へそういった事を、ちゃんとやった上で一週間を目途にそういった事のけりを付けて書類をいただける、そのような受取り方で良いか？

鎌田：それでけっこうだ。

住民：地域住民の繋がりがずたずたになった、それを簡単に水に流してくれといわれても納得できない。養豚場建設の中止が公になって以降、新聞紙上でも良いから住民に対して謝罪をして欲しい。隣近所のおかしくなった気持ちは修復できないと思う。

県議：そこは、そのための役員が要るわけであるから、養豚場を作ってくれという人もいる。隣近所の中が悪くなったりするぐらい、この問題は難儀をされたかもしれない。集約すれば、今日鎌田さんが、「養豚場は作らない」ということがメインテーマだった。皆さんの協力を得て、良好な関係を築きたい。これが本日の会合の目的であると了解願いたい。